
Diary in the future

-SKY-

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Diary in the future

【Zコード】

Z2952

【作者名】

- SKY -

【あらすじ】

卒業あと半年。けど、やり残したことは山ほどあって。一番の心残りはそう、ずっと片思いしてた人に告白していないこと。このまま何もなく卒業なんて寂しすぎる。……そんなことを考えていた矢先、一冊のノートを手に入れる。それは、書いたことが実現する不思議なノート。しかし、そんなことを知らない広樹は、いつものように日記を書き込む。そして……。

序章 はじまつは一串のノートから

「恋なんてただの化学反応なのにな。」

いつだつたか、友達がそんなことを言つてた。

俺はあいつほど理系の知識があるわけじゃないから、詳しく述べはわからないけど。

さつと色々な神経とかホルモンとかが関係し合つて、「すき」って想いは生まれるんだろう。

そのときは、その言葉に妙に納得したけど。

俺は根が文系なんだろうか。

恋はやつぱり、恋だと思つた。

そんなことをぼんやり思つて出しながら、赤く点灯したままの信号を見つめる。

一年以上も前にあいつが言つてた言葉を思い出すなんて。

卒論で疲れて頭がおかしくなつてるからなのか。

信号待ちしてゐる間に、彼女と一緒に仲良く帰る友達の姿を見かけたからなのか。

それとも…。

あと半年で大学生活も終わるのに、すきな人に告白のひとつもできずにいるからなのか。

そんなことを考えてると、周りの景色が急に滲んで見えた。

駄目だな、本当に疲れてるらしい。

ひいひときは、いつも以上に独り身が堪える。

周りの人に気づかれないよう、そつと頭を押さえながら、ようやく信号が青に変わった。

… そういえば、本屋に寄らないといけないんだったな。

いつも曲がる横断歩道の先の角をまっすぐに進んで、本屋に向かった。

田舎での本を買った後、そのまま文房具売り場をのぞいてみる。

余談だが、俺は文房具にはこだわる方で。

シャーペンもノートもファイルも、自分で見て回って気に入ったものでないと使う気になれない。

だから学校の売店で売ってるような野暮なノートは使えない。
いくつかノートを見ていると、ふとあるノートに印が留まつた。
表紙になにやら英文が書いてある、何となく洒落しゃれた感じのノート。
中は普通に淡い青色で螺旋が引いてあって、俺の好みにぴったり
だった。

俺は魅入られるようにそれをレジに持つて行つた。

1ページ 昨日見た夢

アパートに帰つて、俺はすぐ荷袋からノートを出した。

気にいったのを買ったから、早く使いたくてしょうがない。

最初のページを開いて、折り目を付けて。

青のペンで二行書き込んだ。

Diary 2009.10.3

俺はいつも軽く日記みたいなことを書いてて。

といつても、毎日書いてるわけじゃないで、気が向いたときだけ。

續けて三田くらい書くときもあるナビ、
気が向かないとき」は平
氣で一ヶ円ぐらごねむ。

いかにも〇型ですって感じの日記だけど、俺はそれでいいと思う。良いことがあったときだけ日記を書いて、後で読み返して何となく楽しくなって。

そんな感じがすきだから。

久々にNの夢を見た。

高校のときの夢だらうな。

俺が廊下で直哉と話していると、後ろを通りがかつた誰かに直哉が話しかけた。

その声にジドキッとして振り向くと、セリヒなのがいて。

振り向いたとき、乙もチラシヒルクを見た気がして、みよーに
ドキドキした。

けど、すきだつて気付かれたくないから、わざと視線そらして。

…つてところで田が覚めて。

夢だつてわかつてたらな。

すきだつて気付かれたくないとか、ウザイつて思われたくないとか。

そんなこと関係なく、もつとよく見れたのに。

なんか今、むしょーにZに会いたい。

あともう少しで大学生活も終わるからかな。

4年になつて授業もないから、なかなか学校で会わないし。

最後に会つたのつていつだつたかな。

5月くらいだつた気がする。

高校のときにすきだつて言えなくて、あきらめかけて。

だけど大学が一緒になつて、4年間の間にはつて思つてたのに。

同じ大学でも、これだけ会わないんじゃあな…。

最近、俺が図書館で卒論してるのは、そっちのが集中できるつてのもあるけど。

一番の理由は、Nに会いたいからなのに。

研究室にこもって勉強しているよりは、会える確率あがる気がするから。

すきな人の名前をイニシャルで書くのは、何ていうかずっと前からの癖で。

苗子に「さん」付けはよせよせしにし、かとこつて下の名前で呼べるほどの関係でもないし。

イニシャルが「N」の人のだから、「N」って書くのが一番かな。
など。

いつか、「N」なんて書き方しなくていい日が来るよう願いなが

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2952j/>

Diary in the future

2010年10月28日08時35分発行